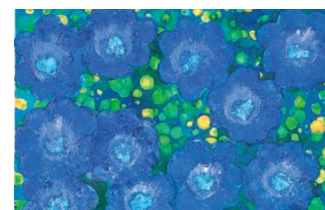


続く！広がる！ヘラルボニーとJALの共創

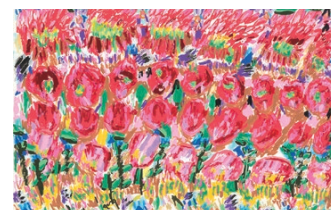


機内サービスの紙コップに新デザインが登場！



Arôme (アローム)

Hélène Dum. (フランス/ナンテール)



花束

しょうたろう 竹内 聖太郎 (日本/宮城県)



南国の鳥の羽

かやの 谷田 圭也之 (タイ/チェンマイ)

異彩を放つ作家の アートを旅のお供に

本日のご搭乗、誠にありがとうございます。ドリンクサービスはお楽しみいただけましたか？紙コップのデザインには目を留めていただけたでしょうか？
2025年12月、機内サービスに使用する紙コップのデザインに、3つの絵柄が加わりました。これは、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー「ヘラルボニー」とJALが共に創り上げる紙コップの第2弾。今回は、ヘラルボニーと契約する国内外3名の異彩を放つ作家によるアートをのせて、皆さまにお届けしています。どのデザインの紙コップがお手元にサーブされるかも、

旅のお楽しみにしていただけますと幸いです。

「障壁のない世界」を目指すヘラルボニーと「国境のない空」を飛ぶJALグループは、両者の共創を通じて旅先で新しい価値観と「つながる」機会を創出することで、多くの方々がより豊かな人生を楽しめる社会を目指しています。機内のドリンクサービスで手にとっていただける紙コップはその取り組みの一例。この他に、国際線ファーストクラスおよびビジネスクラスのアメニティキットや、羽田空港国際線のJALファーストクラスラウンジで

今回のテーマに該当する目標



“行ってみよう”を後押しする /

Beyond Guide



使用するコーヒーカップなどに、作家の個性溢れるアートを採用し、皆さまの旅の過程で多様な感性に触れていただく機会をつくってまいりました。

全てのお客様さまに 安心をお届けしたい

日本では、約10人に1人が何らかの障がいがあるとされており、ヘラルボニーが2023年に行った調査では、知的障がいや発達障がいのあるご家族の約3/4割が「飛行機を含む公共交通機関の利用に不安を感じている」と答えています。不安や戸惑いから旅への一歩を踏み出せない方々に、安心して空の旅を選んでいただくという想いから、JALグループはヘラルボニーと共に旅のハンドブック『Beyond Guide』を制作しました。

障がいのある方やそのご家族の声を基に、飛行機の搭乗に関するステップごとの事前情報やお困り事への

第8回 JALタンチョウフォトコンテスト



タンチョウの美しい姿を未来へつなぐため、JALはフォトコンテストを開催します。生物多様性の大切さ、そして出会った地域や自然を大切に思う気持ちを、ぜひ写真に込めてお寄せください。



▲第7回JALタンチョウフォトコンテスト最優秀賞作品
【募集期間】2026年3月31日(火)まで 詳細はこちらから▶

特設サイト



スペシャル動画



対応をQ&A形式でまとめたもので、Webサイトにてご覧いただけます。JALグループはこれからもヘラルボニーと共に障壁のない世界を目指し、誰もが安心して空の旅を楽しめるようなサービスとアクシビリティの向上に取り組んでまいります。

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS